

あかつか

新潟市立赤塚小学校 学校だより
令和7年度 第2号
発行日 2025年6月2日
TEL 025-239-2019 FAX 025-239-3803

子どもが自分で決めたことに挑戦していける学校

5月27日（火）に1回目の学校運営協議会を開催しました。委員の皆さんから子どもたちの学習の様子を参観していただき、「運動会後も落ち着いて学習に取り組んでいますね」「赤塚の子どもはいつも明るく元気だ」とお褒めの言葉をいただきました。その後、今年度の学校経営方針と具体的な取組等について協議しました。「子どもたち一人一人が自分の思いや考えを表すには、一コマの授業の枠を45分に捕らわれないで、じっくり一人で考える時間、のんびり友達と思いを交流する時間が必要なのではないか」「学級の仲間と考えを出し合い練り上げる時間もあると考えに広がりや深みが生まれる」等、子どもの立場になってご意見をいただきました。職員で共有し実践に繋げていきます。

子どもが考えて決めた目標を大切に、実現・達成に向け学校運営を進めます！

教育目標 「考える子 力を合わせる子 きたえる子」

令和7年度 目指す資質・能力

- 感じたこと考えたことを どんどん表す力
- わかり合って助け合って どんどん高め合う力
- 心のアクセルとブレーキを使って どんどんよくする力

3つの目指す資質・能力の育成に向けて、全職員で以下の取組に努めます。

<授業づくり>

- 表現方法の工夫と選択を取り入れた授業改善と情報共有（ありありなんや・おしゃべりタイム）
- 子ども一人一人のよさや学習状況の把握と子どもの考えや活動の意味付け

<実践の場づくり>

- 児童会行事の工夫、縦割り班活動・異学年交流の充実
- 子どもが考え決めて取り組む活動の推進と、PDCAサイクルでの支援

【Plan（計画）→Do（実行）→Check（評価）→Action（改善）を繰り返し継続的に改善を図る】

<居場所づくり>

- 特別支援教育・生活指導における、子どもに寄り添う支援・指導に関する職員研修の実施
- いじめ防止プログラムに基づく授業、支持的な学級づくりに関する職員研修の実施

保護者・地域の皆さんに支えられています。保護者・地域の思いの実現に努めます！



5月23日（金）に大運動会が行われました。多くの保護者・地域・園児の皆さんから温かい応援を受け、スローガン「限界突破！赤小運動会」を達成しました。今回、「玉入れや大玉転がしもよいけど、学年リレーも観たかった」「成長に応じた徒競走の距離に」という声が届きました。子ども・保護者・地域・職員みんなの思いが実現される運動会でありたいと考え、プログラムを再構築しています。案がまとまり次第お知らせします。



先日、2年生のまち探検に行ってきました。みずき野の様子を調べながら歩き、みずき野中央公園でひと休み。「とってもきれいな芝生の公園。ここで毎日遊べる子どもたちは幸せ」と思っていると毎朝お会いするセーフティスタッフのお二人を発見。なんと住み始めた頃から20年以上も有志の皆さんと芝刈り等の公園整備を続けていると教えてくれました。朝晩は子どもたちの登下校の見守り、日中は地域の公園整備。子どものため、地域のためとボランティア活動に取り組まれている皆さんに感謝の気持ちでいっぱいになりました。同時に、子どもたちが安全な毎日を過ごせることを当たり前と思っはいけない。自分たちでできることを考え、実行していかなければと思っています。



5・6年生は佐潟の「ハス復活プロジェクト」に取り組んでいます。①R5の柵→②R6の柵→③R7の柵と、外来種生物からハスを守る柵が改善されています。子どもたちの思いに地域の大人の皆さんが応えてくれています。「赤塚」を大切に思う気持ちが育まれています。（校長 清水良紀）